



第12号 1996年11月

発行：萩ネットワーク協会  
 〒758 山口県萩市大字江向510 萩市役所広報課内  
 TEL 0838-25-3131 FAX 0838-26-5458

朝晩の冷え込みが厳しくなると、阿武川の水面から蒸気霧が立ち上るようになります。

次々と湧き上がる蒸気がうごめき流れる様は、川が生きて呼吸をしているように見えます。古く中国では天地の営みは「気」の働き

立ちのぼる阿武川の「気」

である、と考えました。川霧を見ていると納得できそうな気がします。

汚れた都会のドブ川では見られない光景でしょうから、蒸気霧は川が生きている証拠とも言えるでしょう。

## 朝霧の漂う阿武川 (萩市霧口)



### 目次

萩時代まつり、萩広域まつり .....	2
ズームアップ・松村久さん .....	3
指揮者・有田知永さん .....	3
東京指月会同窓会 .....	3
特集・写真集「人間万才」 .....	4
会員だより .....	4
修学旅行に行こう .....	5
会津と長州と新聞記者 .....	6
萩・世田谷幕末維新まつり .....	6
下瀬さんが映画に出演 .....	6
心の風景 .....	6
社長インタビュー・吉見明善さん .....	7
偉人伝・中村精男 .....	7
私のお店・ギャラリーくれい .....	7
情報アラカルト .....	8

### 開館11日で1万人を突破

山口県立萩美術館・浦上記念館

山口県立萩美術館・浦上記念館が10月14日開館し、浦上敏朗氏をはじめ二井山口県知事、野村萩市長など多くの関係者が参加して、開館式典が行われました。

現在開館記念として「蒐集家・浦上敏朗の眼 館蔵名品展」が開催されており、市民はもちろん、観光客など連日多くの人が訪れています。開館11日目の10月24日には入場者が1万人を突破しました。



●中国仙人のふるさと山東省文物展

●蒐集家・浦上敏朗 館蔵名品展  
 会期 12月23日(月)まで(月曜日は休館)  
 開館時間 午前9時～午後4時30分(入館は午後4時まで)  
 観覧料 一般720円、高・大生510円、小・中生300円(20名以上の団体割引あり)

会期 平成9年1月5日(日)3月16日(日)(月曜日は日休館。ただし、1月6日と祝日は除く)  
 問い合わせ 山口県立萩美術館・浦上記念館  
 (0838)242400

一城下町の時代絵巻

# 萩・時代まつり

～11月9日(土)・10日(日)～



11月9日(土)・10日(日)の2日間、「萩時代まつり」が開催されます。子ども頃に見た平安古町備組と古萩町の大名行列が、維新の里に一大時代絵巻を展開します。

## 萩時代行列

276年の伝統を誇る萩の大名行列。  
この萩時代まつりは、萩に残る伝統の「萩・大名行列」をもっと広く市民や観光客に知ってもらおうと、昨年からはまりました。  
平安古町備組と昨年12年振りに復活した古萩町の大名行列をはじめとする「萩時代行列」が、萩市内を練り歩く姿は荘厳そのものです。  
昨年、一目この時代まつりを見ようと、多くの観光客が全国から萩を訪れ、その荘厳さに感動しました。  
また、まつりの期間中には萩市民体育館でもいろいろな催しが開催されます。

## 長州大楽市

とき 11月9日(土)・10日(日) 午前10時～午後5時、10日は午後4時まで  
ところ 萩市民館



内容 骨董品、日用雑貨等のフリーマーケット

## ふるさと商人市

とき 11月9日(土) 午前10時から午後5時、10日(日) 午前10時から午後4時  
ところ 萩市民体育館前庭  
内容 萩の物産、飲食物の露店

## 時代展

とき 11月9日(土) 午前10時から午後5時、10日(日) 午前10時から午後4時  
ところ 萩市民体育館  
内容 幕末の長州藩科学者・中嶋治平展ほか

## 第1回 萩・国際友好物産フェア

国際交流を通じて、萩地域の産業振興を図ろうと第1回萩・国際友好物産フェアが開催されます。

国際化社会の進展に伴い、国境を越えて広域的な経済活動が活発になってきました。物流も多種多様な物産品が世界規模で流通し始めています。市内の企業においても、中国やカナダなど国との経済交流が進められています。

こうした中、萩市と市内の企業及び近隣地域が物産を通して、広域的な経済交流を促進し地域産業の振興と萩の国際化を推進しようとして、カナダ・韓国・ドイツ・中国が参加して今回初めて萩・国際友好物産フェアを開催するものです。

世界の味・香り・形などに触れてみませんか。  
とき 11月9日(土)・10日(日)のいずれも午前10時から  
ところ 市役所1階ロビー

内容  
◆物産展示即売会  
カナダ：スウィガニ・カナダサーモン・ロフスター！  
カウチンセーターほか  
韓国：キムチ・高麗人参茶・餃子ほか  
ドイツ：ジャム・ソーセイジクリスマスケーキ・おもちゃほか  
中国：肉まん・シューマイ・餃子・中華まきほか

◆海外ビジネス相談会  
海外との各種貿易、取引、商談などの相談に応じます  
◆友好姉妹都市コーナー  
萩市と姉妹都市の韓国・蔚山市の児童絵画展、出展国のパンフレットの展示

# 野和津 萩・津和野

2・3日間

嬉しい2名様以上  
1室

おひとりさま

26,500～41,500円 2名様より出発保証

●出発日(平成8・9年)

12月1日～2月28日毎日出発

●予定コース ツアー番号 5802 HN(2日間) 5803 HN(3日間)

1日目	羽田空港(8:45頃出発)→(エアニッポン)→石見空港=(連絡バス)=東萩駅(11:50頃着)→(各自でホテルチェックイン)→萩(泊) ※到着後、各自で萩市内観光をお楽しみください。観光タクシープランもございます。	朝
2日目	出発まで自由行動 萩…(各自で)→東萩駅(12:00頃発)=(連絡バス)=秋吉台・秋芳洞(別料金・自由昼食)=(連絡バス)=東萩駅(16:00頃着)→(各自でチェックイン)→萩(泊)	朝
2日目	出発まで自由行動 萩…(各自で)→東萩駅(12:00頃発)=(連絡バス)=津和野散策(約2時間のフリータイム)=(連絡バス)=石見特産品センター(ショッピング)=(連絡バス)=石見空港→(エアニッポン)→羽田空港(17:00頃)	朝

※行程中の太字は入場…下車観光となります。

●旅行代金(おひとり様)(2～6名様1室)

2日間	日～木曜日出発 26,500円	金曜日出発と1/14・2/20出発 29,500円	土曜日出発 34,500円
3日間	日～木曜日出発 33,500円	金曜日出発 41,500円	土曜日出発と1/13・14・2/9・10出発 39,500円

※12/21・22・12/30～1/5 出発は除く(3日間コースは、12/29を除く)

- ◆宿泊ホテル 1・2日目/萩ロイヤルホテル又は萩グランドホテル(和室・洋室・風呂・トイレ付)
- ◆集合場所 羽田空港新ターミナルビル2階 全日空団体専用カウンター前(800頃)
- ◆食事条件 2日間:朝食1回・夕食1回 3日間:朝食2回・夕食2回 各回44名(最少催行人員2名) ※2名様よりお申し込みいただけます。
- ◆ご案内 ★集合時刻・確定ホテル名等の詳しいご案内は、出発前にお渡しする最終日程でお知らせします。  
★他社ツアーと同じバスで送迎を行なう場合があります。  
★ご希望により萩本陣にご宿泊いただけるプランもご用意いたしております。(2,000～4,000円増)  
★添乗員は同行致しませんが、乗務員がご案内致します。

### 参加者全員にプレゼント

- ★萩観光ガイドマップ★萩サイクリングマップ
- ★津和野散策マップ(ご集合場所にてお渡し致します。)

### さらにグループ宴会プラン

10名様以上でお申込みの方には、お得な宴会プランをご用意。(2時間)  
おひとり様 3,500円(税別)で飲み放題  
別料理、コンパニオンは、ご希望によりご用意いたします。(別料金)

お問い合わせ・お申込みはお気軽に…

### おしゃれ旅予約センター

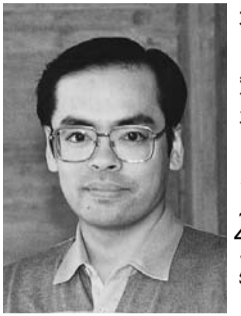
☎ 03-3818-8100

●営業時間/月～土曜 9:20～20:00 日曜・祭日 10:00～18:00  
※電話番号はおまちがえのないようにお願いします。

# 「笑われる指揮者」がモットー

平成9年1月、萩市の有田知永さん(40歳)を始めとする、「コール・チュラカーギ」(長門市)と「萩クラインルコール」(萩市)で編成した女声合唱団が、オーストリアのウィーン楽友協会大ホールで「さくらさくら」や「紅葉」といった唱歌をメドレーで披露することになりました。

オーストリア国際文化交流協会から有田さんにこの招待が届いたのは8月下旬、「チャリティー・コーラスコンサート」に参加してもらいたいという内容でした。日頃から地域で合唱(指揮)活動を展開され、山口県合唱団では好きな合唱も披露されていますが、この長



有田知永さん(40歳)

年の合唱活動が実を結んだといえるでしょう。

有田さんの指揮者としての活動は、静岡大学在学中の静岡県学生合唱連盟の合同指揮者を2年間務めたことから始まりました。萩での小中高でも合唱団に在席して、合唱活動の経歴は30年近くにもなります。「基本的に指揮者というのは我が儘なんです。自分のやりたいように合唱団をまとめることができます

からね。しかし私は歌のじゃまにならないように、そして団員のこころを引き出し、歌い手の中で音楽があふれてくるような指揮ができればと思います。練習中は『笑われる指揮者』をモットーにしています」

有田さんは合唱の魅力に、「声」という素材を持ち寄ってハーモニーを奏でるだけでなく、そこに一人一人の生き様をうまく重ねていける点にあるといわれます。このような合唱団も、その団体のためだけでなく「地域として」という意識を住民も感じてもらう、今後は音楽を始め、こうした芸術を温かく見守っていき社会ができればと望んでいるそうです。「堅苦しいよそ行きのも

のでなく、普段通りの地域に生きるがままの演奏ができればいいですね」と抱負を語られた有田さん、この演奏会も合唱という文化を背負ってという旅でなく、国際交流の一環として頑張りたいとのこと。

1956年萩市新川に生まれる。帰萩後、コール・チュラカーギや萩クラインルコールなどの地域の合唱団で活躍。現在は山口県合唱団の一員として、県内の巡回演奏にも参加。本業は株式会社「アリタ」代表取締役社長。山口県青年ユネスコ連絡協議会会長など国際交流にも貢献。

## ふるさとクイズ

### 当選者発表

前号で掲載しましたふるさとクイズには、全国の会員のみなさんからご応募いただきありがとうございました。正解は  
問1 萩市内のJR駅の数  
答え 7つ(長門大井、越ヶ浜、東萩、萩、玉江、三見、飯井)  
問2 写真の駅名  
答え 萩駅  
抽選の結果、次の皆さんが当選されました。

柴田マサ子さん(東京都台東区、鹿野俊二さん(千葉県習志野市)、勝山義康さん(神奈川県相模原市)、針生純子さん(東京都江東区)、澁江昭一さん(萩市)、長尾儀一さん(埼玉県朝霞市)、恩村知津子さん(東京都保谷市)、金子松代さん(東京都柏市)、阿武寛之さん(東京都板橋区)、御手洗芳夫さん(萩市)以上の10名でした。  
\*当選者の方々には萩ガラスをお送りします。

## 石見空港ゴルフ倶楽部

### 田万川コースが仮オープン

阿武郡田万川町に造成中だった「石見空港ゴルフ倶楽部田万川コース」が10月26日に完工、北浦エリアでは4つ目のゴルフ場として仮オープンしました。

このゴルフ場は、平成5年7月開港の石見空港の名前を冠して東京、大阪でもわかりやすくしようと、空港のある島根県益田市の経済界のアドバイザーで、名前

## 萩の味覚と旧友の顔

### 東京指月会に200人

れました。また、インターネットでの萩の閲覧や、萩ケーブルネットワークによる取材など新しい企画や萩の味を届けますと平天、金太郎やべらごの物産即売も行われ、いずれもあつという間に売り切れる人気でした。

立食形式で行われた懇親会の各テーブルには蒲鉾、ごぼう巻きや地酒が置かれ、懐かしいふるさと萩の味を話題に旧交をあたためていました。

今年引受の萩高校18期代表の前田信太郎さんは「少しでも萩を身近に感じてもらう」と同期みんなで工夫しました。わざわざ萩から手伝いに来てくれた人もいます。よるこんでもらえてほんとうによかった」と嬉しそうに話されました。

来年は萩高校19期・29期の皆さんの引受けです。

東京指月会事務局  
〒107-8302 港区南青山5-17-16  
TEL 03-3407-6669  
FAX 3407-6696



第29回目となる東京指月会が10月18日、東京丸の内日本工業倶楽部で開催され、関東地区の萩高校出身者約200人の出席がありました。

開会に先立って、萩にオープンした山口県立萩美術館・浦上記念館がスライドで紹介されました。その後、TBS人気キャスターである村上允俊さんの司会で浦上さん本人による浮世絵の説明もあり、作品の貴重さや素晴らしさに出席者の中から溜め息やどよめきの声も聞かれました。

総会の後、本年8月に開局したエフエム萩のスタジオと会場を結んでラジオの生中継がされ、公務で欠席となった野村萩市長と会場の会長とのやりとりが流さ

## 「ふぐ」の松村さん

### 下関唐戸魚市場株式会社 専務取締役 松村久さん

「ふぐ料理」は下関名物として知られ、東京や大阪の料亭で出るふぐも下関から直送されますが、そのほとんどは下関唐戸魚市場に水揚げされたものです。

唐戸魚市の現場と経営を、先頭に立って指揮している松村専務は、萩商業を昭和26年に卒業、42年に卒業、26年間ふぐの商い一筋に打ち込んできた

松村さんは毎日午前2時に下関市彦島南風泊(はえどまり)の市場に出て、午前3時20分から始まるふぐのセリの準備をします。40人の仲買人が集まると、威勢のいいセリの声で天然物、養殖物合わせて1.5トン余りのふぐが次々とセリ落とされていきます。

仲買人が、ふぐを調理用に処理して得意先へ送るため一斉に引き上げて行った後も、松村さんは事務所に残って昼まで仕事を続けま

野球で鍛えたフアイト 毎日のハードスケジュールを消化するその馬力は、萩商業の野球部時代につかかったものです。松村さんが現在も師と仰ぐ元野球部監督の瀬上進さんは「セカンドで2番を打っていました。他校の三倍は練習する萩商の練習に耐えて、闘志あふれる選手になりました。」と印象を語っています。

松村さんは、「ふぐ市場日本一」を守るべく、生産者と消費者を仲介する立場で、いろいろと経営戦略を練っています。

ふぐは料理人には特別の免許が必要で、調理に手間がかかり、値段も安くはない魚なので、需要を増やすのは難しいからです。

結局、山口市などと協力して文化的なもので観光を伸ばす、また日本海の幸や美しさを生かすようなポリシーを考えるのが良いのでは、と話していました。

# 郷愁と共感を呼ぶ40年前のスナップ写真集

## 「人間万才 下瀬武雄写真集 昭和20年代(萩)」

山口市の写真館主下瀬武雄さんが出版

下瀬武雄さんは山口市でシモセスタジオを開業する前、萩市の兄さんの写真館を手伝いながら写真技術を習得しました。そのころ写真館の仕事とは別に、アマチュアカメラマンとして町でスナップ写真を撮っていました。当時のフィルムは散逸したものの、めぼしい作品は四つ切りサイズのプリントでほぼ全部保存していたので、その中から117点を選んで写真集にまとめたものです。



写真集「人間万才」

### よみがえる 40年前の暮らし

お弁当の時間に居眠りをしてる小さい子、泥団子を作っている女の子、青鼻を垂らしながら絵を描く子、浜崎の船着き場でチャンバラに熱中する子供達、泣き泣き喧嘩している男の子など、どれもこれも40歳代後半以上の人は「ああ、こんなことがあったなあ」と記憶の底にあるシーンばかりです。子供の写真が多く、しかも写真の中の子供達はみんな生き生きとした表情をしています。下瀬さんはその訳

を「私は子供が好きなんです。だから学徒出陣で軍隊に入る前は、師範学校にいたんです」と話しています。

下瀬さんの写真に登場するのは、ごく普通の人がばかりで、平凡な暮らしの中にある喜怒哀楽の瞬間を切り撮ったものです。近所の人と世間話をしながら編み物をする女の子、荷車を引く男の人、粗末なものをまとって田植えをする農家の人、裸でハンマー仕事する石屋さん、魚市場で威勢良く働く人達など、よく見かけた光景ですが、今ではもう見る事ができないものもあります。

どの写真にも時代や地域の「におい」とでもいうのでしょうか、懐かしい雰囲気が漂っています。

### 「時代」の 貴重な記録

「私は、風景には興味がありません。人間にひかれるんです。あの頃は社会が変動する、面白、い時代でした。」と下瀬さんは言っています。農家の人が農機具を吟味している写真があります。農機具の展示会場でしょつか、手押しスキの取っ手



図書館脇の池で遊ぶ

喧嘩する子供

### カメラクラブで 刺激を受けて 熱中しました

「私は兄(写真館経営者)が材料を使わせてくれたので、写真の環境はよかったです。作品づくりでは、できたばかりの『萩カメラクラブ』の活動がよい刺激になりました。例会で持ち寄った写真を互選して1位、2位を争ったり、写真展を開いたりして、お互いに腕を競い合っていました。写真集にしたのは、そのころ撮った作品です。」

撮影に使ったのはセミパールとマミヤシックスというカメラで、露出計はなく、レンズの交換はできない上に、フィルムの巻き上げは裏蓋の小さい窓からフィルム番号を見ながら手でノブを回すものでした。従ってパチリと一回シャッターを切ると、手でフィルムを巻き上げ、シャッターをチャージしないと次のシャッターが切れないので、現在のカメラのように連写はできません。写真集の作品は、シャッターチャンスを狙いずまして一発で撮影し、ほとんどノートリミングでプリントしたそうです。

「当時、萩の新聞記者は写真が苦手な人が多かったので、写真を撮ってあげて新聞に載ったり、コンテストに入賞したりすると嬉しかったですね。」

下瀬さんには、赤い羽根写真コンテスト・厚生大臣賞、日本写真美術展・入賞、アサヒカメラ年鑑(1958版)収録、月刊PLAYBOY創刊8周年記念公募PHOTO部門1位などの実績があります。

写真集には子供と犬や猫がよく出ていますので、子供好き動物好きの人ではないかと予想しながら山口市のシモセスタジオを訪ねると、ウインドウには人物写真と共に犬のポートレートが飾ってありました。

今年満70歳になったのを節目に写真集を出したので、すか、という質問に「いやあ、たまたま保険が満期に

### 観光都市として更なる発展を

萩は本当に美しい所です。萩を訪れてみたいという方や、一度は萩を訪れたことがあるという方は多く、皆さんの印象も良いので、萩出身の人間としては鼻が高いです。八丁の女学校時代は川がすぐそばにあったので、川辺で友達とよくクローバー摘みをして遊んでいました。その川の水のきれいだったこと...今でもよく覚えていています。

「当時、萩の新聞記者は写真が苦手な人が多かったので、写真を撮ってあげて新聞に載ったり、コンテストに入賞したりすると嬉しかったですね。」

下瀬さんには、赤い羽根写真コンテスト・厚生大臣賞、日本写真美術展・入賞、アサヒカメラ年鑑(1958版)収録、月刊PLAYBOY創刊8周年記念公募PHOTO部門1位などの実績があります。

### 萩で過ごした23年間は、 私の一番の宝物です

ぶのが、指月山。そしてそこから広がる海岸線と松林。大阪にきて20年以上たちますが、この景色だけは忘れられず、今も脳裏にくっきりと焼き付いています。よくあそびましたねえ。堀に飛び込んで泳いで渡ったり、砂浜で古銭を掘り当てたり...小さな事までよく覚えていますよ。萩にいた23年間は、私の一番の宝物ですから。今は集め

### みんな、萩が好きなんです。

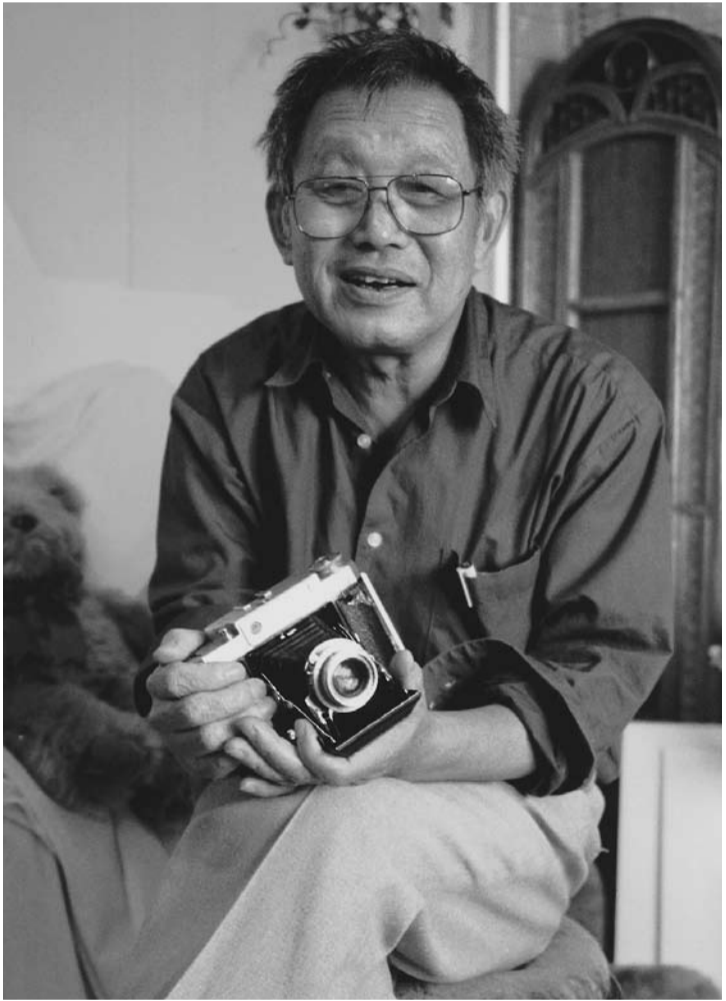
...会員だより

### 年を追うごとに萩に対する 懐かしさが増していきま

の知らない萩をネットワークで発見し、喜んでいきます。萩へは毎年帰っています。都市開発も大変重要な事と思いますが、古い歴史と町並みを残しながらの萩市の発展を心よりうれしく思っています。

旭川に住むようになり30年が過ぎましたが、年を追うごとに萩に対する懐かしさが増しています。また、わずかに2年間ながら高校生活を萩で送った夫も、自分

北海道人出身) 津吉八恵子(西木間出身) 機会をみつければ、実家へ帰っております。古いたずまいの残る町並みの懐



愛機マミヤシックスを持つ下瀬さん



笑顔の素敵な澄江さん  
(後に下瀬さんのお嫁さんになった人)



下足番をする老人

街頭演説をする立候補者

を握る男の人は真剣な表情で、この最新式農具の使い勝手をあれこれ考えているようです。そばでは学校帰りの子供が見物しています。今の耕耘機と比べればお笑い種でしかない代物ですが、農業の機械化はここからスタートしたことを物語っています。

それにしても農家の人や子供達の、農機具に向けた熱い眼差しがほほえましく、味わいのある記録写真です。

こんな写真もあります。市議会議員の選挙戦でしようか、候補らしい人が街角で演説しています。通りがかりの人や近所の子供が立ち止まって聞いています。演説する人の脇に自転車があるので、この人は自転車で廻っているらしい、とわかりました。選挙運動の原点を写した写真を見ると、「運動員を沢山集めて車で廻らさるうか」と考えてしまいます。

また写真の中の電柱には「ONE WAY」という進駐車が設置した交通標識が写っていて、秋で一方通行が始まっていたことがわかります。

そんな理屈っぽい見方をしなくても、高島田の花嫁さんが挨拶廻りをする場面、お寺

で説法のある日に下足番をする老人、風船ガムをぶくらます子供、春日神社前の競馬、運動会で力走するお父さん等々、見ていると、何とも云えない懐かしさがこみ上げてきます。

写真に記録された40年前の日常生活をみていると、人間関係が今よりも濃密で、大人も子供も老人もみんな自分のいるべき所にいて、生き生きと暮らしているのが印象的です。

経済的には今とは比べようもないほど貧しい時代でしたが、心豊かな暮らしがあったように見えます。

なって、ちよつとまとまった金が入ったんで、これを逃したら二度とチャンスは無いと思って、出版を決心しました。だけども金というものは目減りするものですねえ。印刷に手間取るうちにだんだん減ってきて、最後は印刷代を払うのがやっと、という金額になってしまいました。

それでも貴重な決定的瞬間を、とにかくモノにできたので、まずは、おめでとうございます。

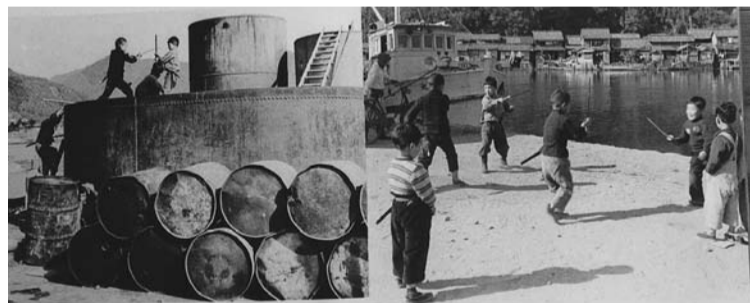
「人間万才 下瀬武雄写真集昭和20年代秋」を購入希望の方は左記のいずれかへご連絡ください。

定価1500円(送料はご負担ください)。

〒753 山口市中央2丁目4-2  
シモセスタジオ 下瀬武雄  
TEL  
0839・22・6937  
〒758 萩市瓦町22  
シモセスタジオ 下瀬信夫



新式農機具を吟味する農家の人



浜崎でチャンバラに夢中の子供

TEL  
0838・22・0129

### 感謝と誇りと夢を伝えたい

かじりと、新しい建築の風景に驚きながら、秋の健在なる成長を感じております。

3つ目が、夢です。いつかは秋に戻りたい、という夢です。その頃の秋は、私が生まれ育った痕跡も残っていないかもしれません。しかし、生きる魅力のある秋であれば、その夢は現実のものであり、そうあってほしいと祈る限りです。

奈良県五條市 草野靖司  
(大井出身)

この機会に秋への思いを3つお伝え致します。

1つ目は、感謝の気持ちです。秋で一生懸命がんばっている皆様は、故郷を支え、育てて未来へつないでいてくれると感じずにはいられず、そういった気持ちで感謝の気持ちとなっております。

2つ目は、誇りです。秋の出身で、秋を支えている

## 修学旅行に行こう！

萩高校第15期生が  
当時の修学旅行コースで再現  
参加者募集中

皆さんは、どんな修学旅行の思い出を持っていますか。同窓会の折りなど、修学旅行の思い出談義に花を咲かせる方も多いと思いますが、残念ながら何らかの理由で修学旅行に参加できなかった人はこの輪に入ることできません。そして年をとるに従い、参加できなかったこの修学旅行への思いは強くなっていくばかりです。

昭和37年に実施した、萩高等学校第15期生の修学旅行にも約13人の参加できなかった生徒がいまも、この話題になると悲しい思いをされています。しかし、この年の卒業生は、どんな修学旅行の思い出を持っていますか。同窓会の折りなど、修学旅行の思い出談義に花を咲かせる方も多いと思いますが、残念ながら何らかの理由で修学旅行に参加できなかった人はこの輪に入ることできません。そして年をとるに従い、参加できなかったこの修学旅行への思いは強くなっていくばかりです。

昭和37年に実施した、萩高等学校第15期生の修学旅行にも約13人の参加できなかった生徒がいまも、この話題になると悲しい思いをされています。しかし、この年の卒業生は、どんな修学旅行の思い出を持っていますか。同窓会の折りなど、修学旅行の思い出談義に花を咲かせる方も多いと思いますが、残念ながら何らかの理由で修学旅行に参加できなかった人はこの輪に入ることできません。そして年をとるに従い、参加できなかったこの修学旅行への思いは強くなっていくばかりです。

●日程 平成9年1月11日(土) 萩市出発(チャーターバス)宮崎(ホテル神田橋集合)  
12日(日) 鹿児島(重富荘泊)  
13日(月) 島原(ホテル南風楼泊)  
14日(火) 萩市着  
※途中参加大歓迎!  
●連絡先 萩市幹事 長寿寺 古屋まで  
TEL  
0838・22・2580

# 会津と長州と新聞記者

―百三十年のこだわりを取材する― 土田芳樹

広瀬川とけやき並木の美しい杜の都・仙台に赴任して三度目の秋を迎えました。日本経済新聞社に入社（昭和46年）以来、広島、東京、名古屋、大阪と転勤を重ねてきましたが、白河の関を越えての勤務は初めて。しばらくは気候風土から人付き合いまで戸惑いの連続でした。

なかでも、初対面の人に会うと前任地はもとより、出身地を根掘り葉掘り聞かれるのには驚かされました。「大阪から来ました」というと、「関西ですか」と相手の反応はいまひとつぱつとしません。関西人とりわけ関西弁に、東北の人は根強い抵抗感を抱いているようです。

もともと、私の言葉が関西弁でないのを見て、「でも、ご出身地は違うでしょう」と、ある種の期待感を込めて尋ねてきます。「もともと西の方です」と言うと、「西ってどこですか」とたまたま「山口県です」と答えると、「山口はどちらで」と続きます。

私が一瞬ためらいながらも、「えー、実は秋なんです」と答えると、皆さん一様に複雑な表情を浮かべ、その後には判で押したように同じ言葉が返ってきます。「仙台藩はいいですが、会津に行かれる時はくれぐれも気を付けてください。」

まいは、萩と非常に似通った印象を受けました。

訪問の目的は、長州人へのこだわりをテーマにした市民劇「早春譜」の取材でした。公募シナリオの中で最優秀に選ばれた作品で、会津の旧家の女性と萩出身者の青年が恋に落ちるが、会津人の誇り高い祖父が猛反発するという筋書きです。祖父の心の動きを軸に和解に至る人模様をホームドラマ風に描いています。

公演日は11月24日、出演者はスタッフ約100人はすべて市民という手作り舞台です。裏方の一人で会津風雅堂の関係者は「未来を閉ざすこだわりが、会津人に好ましいことなのかどうか」と、市民劇のねらいを控えめに話していました。

会津と萩の間には、過去に二度、姉妹提携や和解話がありました。いずれも会津側の反発で「破談」になった経緯があります。最近になって、市民レベルでの相互訪問など交流が活発になっていくようです。萩市長あてに公演の招待状を送ったという風雅堂では、「できれば萩でもこの劇を上演したい」と、友好のポスターを掲げています。

こうした話を新聞紙上で紹介したところ、それがきっかけで会津若松商工会議所の若手経営者グループから声がかかり、先日また会津若松市に行きました。会津藩校日新館の方を始め総勢20人近くいらしたでしょう。酒を酌み交わしながら、なごやかに、ざつぱらんな議論が深更に及びました。

酒席での乾杯はビールではなく、必ず会津の地酒

でというように、皆さん会津へのこだわりが強烈でした。萩焼、会津塗りなど展示会を通じて経済的、文化的交流を大いに進めたい、という一方で「政治的和解にはまだまだ時間が必要」というのが、大方の意見でした。

戊辰戦争から約130年ですが、この年月が長い短いかは、それぞれ置かれた立場によって異なるものなんでしょう。戦争による心の傷がそう簡単に癒えるとは思いませんが、「早春譜」という市民劇を糸口に、会津と萩の歴史の和解が進んでほしいと、「当事者」の一人として切に願っています。

（日本経済新聞仙台支局長、昭和40年秋高卒）

## 「早春譜」とは

この演劇は、萩の青年と会津若松の娘との結婚に至るまでの苦難の様子をホームドラマ風に表現している。時は現代、場所は会津若松市の旧家。この当主吉工門は、戊辰の亡霊と陰口されるほどの薩摩、長州嫌いで有名であるとの設定。調査・研究をするなど、役作りに至るまで万全という。

今回、この演劇が会津若松市で上演される背景には、歴史の上で悲しい出来事として伝えられている戊辰戦争への拘りがある。戊辰戦争から130年余り、現代に生きる会津若松市民



昭和48年の大井小学校の校舎。当時は木造2階建校舎で、校舎玄関側にはソテツの木が植えられている。昭和56年に、鉄筋3階建ての現在の校舎に建て替えられた。

## 心の風景

思った矢先、青年の口からは「出身地は萩市」である。その言葉と同時に態度が豹変、頭ごなしに反対する吉工門。必死に吉工門に懇願する青年と頑固なまでに拘り続ける吉工門の人間模様が展開する。途中、青年の祖母が登場し、ストーリーは意外な方向へ展開。心揺れ動く吉工門、結末は如何に。

早春譜は、原作・脚本は会津若松市内で一般公募し、応募のあった中の最優秀作品で演出から舞台監督、小道具、照明、音響に至るまで、全てにおいて会津若松市民の手で行われる。出演者は、事前に萩へ訪れ方言や人柄などについて調査・研究をするなど、役作りに至るまで万全という。

今回、この演劇が会津若松市で上演される背景には、歴史の上で悲しい出来事として伝えられている戊辰戦争への拘りがある。戊辰戦争から130年余り、現代に生きる会津若松市民

がこの拘りへの是非を問うものである。人を不幸にまでしてしまう拘り、未来を閉ざしてしまう拘り、これらは捨ててしまふべきではないのか。スタッフ、関係者の中には、こうしたねらいがあるようだ。

いずれにしてもこの演劇の醍醐味は、会津若松市民自身がこの拘りの部分をどう表現し、結末を雪解けの方向へ導くのか、はたまた拘りを残し続けるのか、こうした所が一番の魅力であると感ずる。

演劇を通し、近い将来民間からでも交流が起こることを切に願うものである。とき 11月24日（日）開場午後1時 開演午後2時 ところ 会津風雅堂 福島県会津若松市城東町 入場料 1,000円（全席自由） 問い合わせ（財）会津若松文化振興財団 会津風雅堂（0242・270900）

## 吉田松陰が縁 萩・世田谷幕末維新祭り

安政6年（1859）10月27日11時頃、伝馬町獄舎に於いて、吉田松陰は処刑されました。享年29歳。29日、桂小五郎、伊藤利輔らは遺骸を受け取るために奔走したといわれます。そして小塚原回向院下屋敷常行庵に葬られました。その後、遺骨は現在の世田谷松陰神社に葬られ、明治2年には門下生たちによって同じ場所に祠を建て、現在の松陰神社となったといわれます。

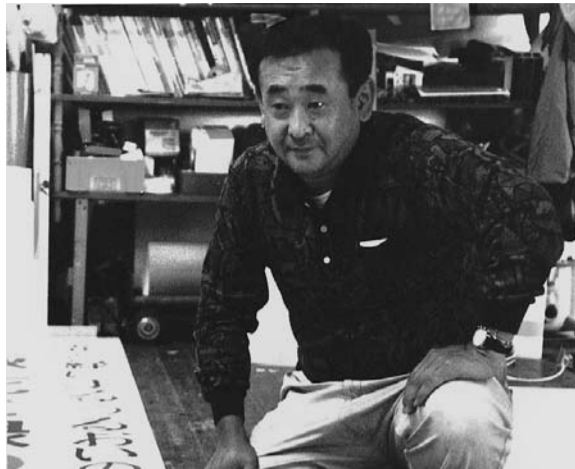
吉田松陰という人物による共通の歴史をもつ萩市と世田谷が祭りを通じて交流を深めようと平成4年第1回萩・世田谷幕末維新祭りが開催されました。

第5回目となる今回は10月19・20日に行われ、またした。区民への定着もあり、また天候にも恵まれ両日とも大勢の参加者でにぎわいました。世田谷と萩市の関係者や松陰や高杉晋作等の縁の人が出席してオーピングセレモニーが行われ、会場には萩市から萩焼、海産物、地酒など萩特産品の販売コーナーが店開きされ、いずれも東京ではなかなか手に入りにくいものも多く、飛ぶように売れていました。また、萩焼き作家金子信彦氏が直接手ほどきする陶芸教室は大人気で、応募者が多すぎたため抽選で選ばれた30人が参加。会場でできた作品は萩に持ち帰り、焼き上げた後12月頃には作者の手元に届くようになっていきます。



20日には、地元元国土館高校の生徒ら50人が扮した奇兵隊が世田谷通りから松陰神社までをパレード、時ならぬ時代絵巻に商店街の人から、より大きな拍手が沸き上がりました。

(有)ヨシミ工芸社社長 吉見明善さん



「コンピュータが生きて残りのカギです。個人がコンピュータを使いこなす、垂れ幕をプリントできるワープロが普及する時代です。これに対応できなければ、間違いなく潰れるでしょう。」

看板のヨシミ工芸社吉見明善社長（41歳・萩高48年卒）は、こう切り出しました。 桃栗二年、柿八年？ 看板屋さんといえば、板にペンキで絵や字を書く姿を想像しがちですが、現在

カキからパソコンへの進化を体験

ではそんな仕事はほとんどなく、粘着シートをカットしてトタン板に張り付けるのが普通だそう。しかし吉見さんが23歳の時、初めてこの世界に足を踏み入れた頃は、そうではありませんでした。家庭の事情で大学を中退し、近所の看板屋にバイトのつもりで行っ

たのが従業員となり、ペンキで手書きする時代の徒弟制度を体験しました。 この世界では「モモグリ3年、カキ8年」という言葉があったそうで、最初の3年間は、看板の下書きを紙に書いて見せると、師匠は黙ってモモグってゴミ箱に捨てる、実際に書き始めるのに8年はかかる、という意味です。

吉見さんは幸いにも、在学中に「レタリング」の通信教育を受けていたのが役に立ち、また理解のある師匠に恵まれたので、3年で書かせてもらえるようになりました。そして26歳で「看板のヨシミ」の看板をあげて独立します。 開業後は、同級生が注文

パソコンをフル活用してヨシミ工芸社には6人の従業員が働いており、仕事ではまず顧客が看板のイメージをつかみやすいよう、パソコンを使って、現地の写真の上に看板を合成したプレゼンテーションを作成します。顧客が納得し

をくれたり、萩商工会議所青年部や青年会議所の仲間からの注文で、比較的スムーズに事業を軌道に乗せることができました。こうした体験から人間関係の重要性を知り、後に萩や阿武郡の若い人々と情報ネットワーク「飛耳長目の会」を結成し、町づくりを話し合うなどして交流を深めました。

15年前、萩市内に10社あった看板業者が今では5社となり、そのうち2社はまだ昔ながらの手書きで看板を作っています。 注文された通りの看板を作っていればよい時代から、顧客に提案できる広告情報産業としての看板屋さんが求められる時代になるうとしています。モノ作りに利用したパソコンを、情報作りはどう生かすかがカギになりそうです。

偉人伝



気象学者 なかむらきよお 中村精男 1855～1930年

安政2年（1855）阿武郡椿郷東分村（現在、萩市椿郷）に生まれた。明治4年（1871）上京して東京明治協会でフランス語を学び、翌5年大学南校に入学し、12年東京帝国大学理学部物理学科を卒業した。明治13年には東京帝国大学教授メンデルホールに

協力し、富士山頂で初めての本格的な気象観測を行った。ついで明治19年から足掛4年間自費でドイツに留学し、ベルリン大学・ハンブルグ海洋気象台で気象学を研究し、「快晴と曇天の日における気圧の変化に

日本気象学の草分け 現在の東京理科大学も創立

就て」「数日間連続せる天気に就て」など、我国初めての気象学的論文を発表し、気象観測の学問的發展に努めた。明治26年には我国の気候を外国で紹介するために、「日本の気候」という論文を英文で著し、これによって理学博士の学位

利用された。さらに精男の指導によって、我国最初の自記雨量計も試作されている。 明治28年には第3代の中央気象台長に就任し、以来30年の長きにわたりその職にあった。その間、明治38年には国際気象協議会

展させ、帝国学士院会員・大日本気象学会会頭などの要職も兼ねた。このように精男は、我国の気象事業を確立した先駆者の一人であった。 精男は気象事業だけでなく、我国の理学教育の発展にも貢献した。明治14年東

京理科大学の前身、東京物理学講習所が創立されたが、その創立者21名の一人に精男がいた。創立者たちは、すべて東京帝国大学理学部物理学科出身者で、そのほとんどが20歳代の青年であった。まさに理学の普及をもって科学黎明期の我国発展の基礎を築こうとする、青年学生たちの熱き思いが伝わってくる。明治16年東京物理学講習所は東京物理学学校と改称し、ついで18年にはその永続的な維持と発展のために創立者たちで維持同盟を作り、理学振興の初志を貫こうと誓約を結んだ。精男を含む維持同盟者たちは、毎週2回ずつ講義を行う義務を負い、手弁当で学生たちの指導に当たった。明治29年精男は第2代の東京物理学学校校長となり、昭和5年（1930）

逝去するまで36年間もその職を全うした。 精男は語学にも精通しており、英・仏・独語などを話し、さらに日本エスペラント学会 理事長としてエスペラントの普及にも努めた。 東京物理学学校の卒業生にエスペラントで、「希望と執着と忍耐とを旗印として進むことなく戦え、勝利の栄光は遂に君等の上に輝くであろう」という言葉をよく贈ったという。明治維新という苦難と栄光の時代をくぐり抜けてきた、暮末秋人の気概を彷彿させる。 【参考文献】 気象庁「気象百年史」 東京理科大学「東京理科大学百年史」 吉川弘文館「国史大辞典」 三好晃太郎「中村精男博士を憶ふ」

萩・ひと・人

私のお店

愛知県江南市高屋町八幡 120

ギャラリー 「くれない」

☎0587・54・0839



愛知県江南市在住で萩出身の松野俊男さんが、10月20日ギャラリー「くれない」（英語で粘土という意味）を開設しました。 「夫婦でギャラリーを開設することが一つの夢でした。このギャラリーが若い人の発表の場となつたらと思っています。」と松野さんが。松野さん自身ジャズが好きで自らサクソスを吹き、オープン前夜祭の19日には、知人や友人を呼んでジャズコンサートを開かれました。ギャラリーで音楽

発表会も開催しました。 「江南市近郊は陶芸のメッカであり、そういう風土の中で本当の萩焼を皆さんに知ってもらう場ができたと思っています。ギャラリーは落ち着いた雰囲気の中に、おしゃやかな空間が演出されており気に入っています。きっと皆さんにも喜んでもらえると思います」と久美子さん。 現在、ギャラリー「くれない」では俊男さんの弟で萩焼作家・松野龍司さんの作品が展示してあります。



縁ある萩人へ 文字と看板を 全国へ宅配します

○カット済み、シート文字（粘着フィルム

- を字型に切ったもの) ○研修会、講演会、会議、宴会・・・用 タイトル、横看板、演題、式次第、垂幕 ○イベント用、会場、駐車場、表示立看板 (イベント毎に使いまわし可能)

\*資料、ご請求は下記 TEL,FAX にて

(有)ヨシミ工芸社 萩市椿金谷 2801-5

TEL 0838・25・8780

FAX 0838・26・0602

# 情報アラカルト

## 東北地区

- ◆市民劇場「早春譜」  
萩の青年と会津の娘の恋愛物語です。  
と き 11月24日(日)午後1時～  
ところ 会津若松市・會津風雅堂  
問い合わせ 0242・27・0900
- ◆萩焼作家の個展
- 岡田裕作陶展  
と き 11月10日(日)まで  
ところ 福島県福島市・大月画廊

## 関東地区

- ◆第18回武蔵野美術家展  
萩出身の女性日本画家・内田青虹の作品が出品されます。  
と き 11月14日(木)～11月24日(日)  
ところ 三鷹市・武蔵野市民文化会館(アルテ)
- ◆たちばな会関東支部  
たちばな会関東支部の総会を次のとおり開催します。多くの皆さんの参加をお待ちしています。  
と き 11月29日(金)午後6時30分～  
ところ 東京都港区・はあといん乃木坂
- ◆アイランダー1996  
全国から島が東京に大集合。萩からも見島・大島・相島・櫃島(ひつしま)の萩諸島が参加し、特産品などが紹介されます。  
と き 11月23日(土)～11月24日(日)午前11時～午後6時  
ところ 東京都池袋・サンシャインシティ文化会館2階
- ◆ながと路観光キャンペーン  
萩・津和野・益田・長門・須佐・川上・秋芳・美東の観光宣伝及び特産品を紹介します。  
と き 12月2日(月)～12月20日(金)午前10時～午後6時  
ところ 東京都千代田区有楽町・電気ビル1Fふるさと情報プラザ
- ◆世田谷ポロ市  
世田谷ポロ市のふるさと物産店に、萩市からも萩焼などの特産品が来店されます。  
と き 12月15日(日)・16日(月)午前9時～午後9時  
平成9年1月15日(祝)・16日(木)午前9時～午後9時  
ところ いずれも世田谷信用金庫構内駐車場

- ◆萩焼作家の個展
- 納富晋作陶展  
と き 11月3日(日)～11月9日(土)  
ところ 東京・丸善日本橋店4Fギャラリー
- 樋口大桂作陶展  
と き 11月27日(水)～12月3日(火)  
ところ 横浜市・横浜高島屋7F B画廊
- 日展  
萩焼作家・田中秀男の作品が入選、展示されています。  
と き 11月2日(土)～11月24日(日)  
ところ 東京都台東区上野・東京都美術館

## 東海地区

- ◆からたち会中京支部  
からたち会中京中京支部の総会を次のとおり開催します。多くの皆さんの参加をお待ちしています。  
と き 11月24日(日)正午～  
ところ 名古屋市中区・名古屋駅前第3堀内ビル15F  
北京料理「百楽」名古屋店

## 関西地区

- ◆第3回萩同郷会  
4年に1度の萩高・萩商・萩工・萩光塩出身者の合同の同窓会です。多くの皆さんの参加をお待ちしています。  
と き 11月17日(日)正午～  
ところ 大阪市北区梅田・大阪弥生会館
- ◆萩焼作家の個展
- 現代陶芸 7つのメッセージ展  
萩焼作家・三輪龍作の作品が展示されます。  
と き 11月8日(金)～11月13日(水)

- ところ 大阪府守口市・京阪百貨店内ギャラリーオブアーツアンドサイエンス
- 坂高麗左衛門作陶展  
と き 11月27日(水)～12月3日(火)  
ところ 京都市・京都高島屋

## 中国地区

- ◆広島指月会発足総会  
広島指月会の発足総会を次のとおり開催します。この会が発展していくためにも、多くの皆さんの参加をお待ちしています。  
と き 11月10日(日)正午～  
ところ 広島市中区・メルパルク広島  
連絡先 赤崎辰也 082・870・2081
- ◆萩焼作家の個展
- 特別展「女はどう表現されてきたのか」  
萩焼作家・三輪龍作の作品が出品されます。  
と き 11月10日まで(日)  
ところ 岡山市・岡山県立美術館
- 兼田佳炎作陶展  
と き 11月6日(水)～11月18日(月)  
ところ 広島市・広島そごう
- 守繁徹作陶展  
と き 12月10日(火)～12月16日(月)  
ところ 広島市・三越広島

## 山口県関係

- ◆萩焼作家の個展
- 内村幹雄作陶展  
と き 11月21日(木)～11月26日(火)  
ところ 山口市後河原・ラセーナ
- ◆特別展「国宝」  
防府市の毛利博物館には、毛利家に伝来する美術工芸品や歴史資料約2万点が所蔵されています。その中には、国宝・重要文化財等国や県の文化財指定品が多く含まれています。これら国宝を含む指定文化財の公開が次のとおり開催されます。  
と き 11月1日(金)～12月1日(日)午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)  
ところ 防府市・毛利博物館  
入館料 大人1000円、小中生500円(30人以上の団体は2割引)  
※月曜が休館。ただし、11月4日は開館、翌日が休館。

## 九州地区

- ◆萩焼作家の個展
- 納富晋作陶展  
と き 12月11日(水)～12月15日(日)  
ところ 熊本市・熊本県伝統工芸館

## 萩市関係

- ◆萩時代まつり  
276年の伝統を誇る平安古町備組と古萩町の大名行列が萩の町を練り歩き、維新の里に一大時代絵巻を展開します。  
と き 11月9日(土)～10日(日)  
ところ 萩市民体育館・旧萩街道  
内容 時代行列(10日のみ)、長州大楽市、ふるさと商人市、時代展ほか  
※萩広域ふるさとまつり、第1回萩・国際友好物産フェアが、萩市役所を主会場として同時に開催されます。

## テレビ・ラジオ

- ◆堂々日本史「幕末国際戦争」(仮題) NHK総合テレビ  
全国に攘夷の嵐が吹き荒れる中、関門海峡で勃発した馬関戦争。日本史上初めて欧米列強と戦い、無残な敗北を喫した国際戦争である。敗戦後、長州藩は敵国イギリスと急接近し、時代は一気に討幕そして明治維新に向かっていく。番組では、下級武士の従軍記や被災民の聞き書きを軸にして幕末維新の大転換点・馬関戦争のドラマを追う。  
放映予定日 11月26日(火)午後10時～10時45分
- ◆日曜スペシャル「海の幸山の幸日本列島とれたてグルメ旅」～萩・津和野 北浦街道～KRY山口放送  
秋の北浦街道を萩・津和野・下関を中心に訪ねる。萩から長門そして下関までの日本海のとれたてグルメ

- 旅が今回のテーマ。また、萩・津和野などの美しい街を味わい、江戸から明治への歴史を辿る旅でもある。レポーター林家こぶ平。  
放映予定日 12月1日(日)午後2時～
- ◆「古里の伝承」NHK教育・NHK総合  
萩市見島の祭りや海士漁、鬼ヨーズなどを紹介。NHK山口放送局が1年がかりで、見島取材したもの。  
～漁と農を守る神々の島・山口県萩市見島～ NHK総合(再放送)  
放映予定日 11月10日(日)午前5時5分～  
～鬼ヨーズと精霊船、山口県萩市見島～  
放映予定日 11月10日(日)午後7時～ NHK教育  
再放送予定日 11月17日(日)午前5時5分～NHK総合
- ◆(仮題)「ふるさとCM大賞」TYSテレビ山口  
山口県内の市町村がわが町のCMを製作し、これら応募作品を紹介する。萩市もCMを製作応募している。  
放映予定日 12月5日(木)午後4時～
- ◆仮題「鬼萩・三輪休雪の世界」ハイビジョン  
人間国宝・三輪休雪の鬼萩の作品の魅力にスポットをあてる。鬼萩の「白」の魅力を紹介する。  
放映予定日 1月1日(祝)正午～
- ◆年末年始特集 仮題「白を育む日々」～人間国宝・三輪休雪の世界～NHK総合  
人間国宝・三輪休雪の人間にスポットを当てたドキュメンタリー。人間・三輪休雪の魅力を紹介する。  
放映予定日 1月3日(金)午前8時～

## 書籍

- ◆ブルーガイドニッポン35「萩・津和野・山口」(実業之日本社)  
萩城下町、堀内、萩城跡、指月山、東光寺、松陰神社など萩の名勝、史跡が写真(説明)で紹介されている。また、萩焼や地酒なども紹介されている。  
10月30日発行 定価1240円
- ◆「島の子どものあそび」多田穂波著(萩市見島出身)  
多田氏の古里・見島の子どもの頃のあそびを書いたもの。島ならではのあそびが紹介されている。当時は、買う遊びではなく、作るあそびであることがよくわかる。和田康子氏の挿絵もありなかなか楽しい。  
定価 2000円(送料別)  
申し込み・問い合わせ 萩市郷土博物館(0838・25・6447)
- ◆阿武町史(上巻)阿武町史編さん委員会編集 阿武町発行  
阿武町の町制40周年記念事業として発行されたもの。阿武町の原始・古代から現代までの歴史、自然、地形などが書かれている。  
定価 7000円(送料590円)  
申し込み・問い合わせ 阿武町役場(08388・2・3111)
- ◆「毛利元就」瀬田美樹男著(光文社)  
戦国の武将の中で毛利元就ほど、ナゾにつつまれた未知の男はいない。その理由は、彼自身、自己顕示を極端に嫌い、信長や秀吉・家康のように立身出世の伝記や、その他の記録をきらったせいもある。元就は、毛利にとって必要なものと、そうでないものをふるいにかけて、邪魔者や不要なものは吉田(広島県吉田町)へ残していったのである。  
定価 2000円

## 萩駅の古い写真を募集

萩市では、市内に残る大正時代の代表的建造物・萩駅を観光拠点の一つとして、平成8年・9年の2か年で駅舎の改修工事や周辺整備を計画しています。

今回の改修工事は、大正14年から昭和30年頃までの初期の萩駅を復元しようとするものです。

皆さんも、是非一度アルバムを探してみてください。あなたの懐かしい思い出とともに萩駅の写真があるかもしれません。もし、萩駅の写真がありましたら、下記までご連絡ください。

連絡先 萩市大字江向510番地  
萩市教育委員会文化課か萩市観光課  
TEL 0838・25・3131  
FAX 0838・26・3561